### やま

川上~川下まで、森林・木材に関わる様々な分野で頑張る人を紹介します。

ます。 測量を主な仕事とする浄土春満さんを紹介し 今回は、富山県西部森林組合の高岡支所で

富山県西部森林組合高岡支所

森林作業員

浄

春満さん



<sub>はるみつ</sub> 春満さん じょうど 浄土

#### 1 現在の主な業務

等測量業務を一手に引き受けておられます。 の森づくり税事業、治山事業、農林水産公社 事業(造林事業、路網整備推進事業、水と緑 からの委託等)の面積測量、 富山県西部森林組合高岡支所に委託された 作業道の中心線

## 仕事をする際の心がけ

2

助金は税金)であること、作業員の給料に関 測量成果となる施行面積及び作業道延長 、補助金交付申請の可否や事業費の基礎 補

> おられます。 わるものであることを忘れないよう心がけて

### 測量への思い

点の管理」も考えた測量を考えられておられ 「検査に合格!」は、もちろん、その後の「測

コンパス測量では杭の復元に時間がかかるほ り杭が見つからないことがあり、その場合は はその後下刈り等が数年続くため、 考えています。その理由として、 度で記録するGPS(GNSS) 測量がいいと コンパス測量より衛星を捕捉しやすく緯度経 点が確認できないことがあるためとのこと。 例えば、主伐後の新植箇所の面積測量には、 測線上付近の樹木が成長することで既測 新植箇所で 経年によ

# より良い測量成果に向けて

間伐・更新伐が入り組んだ箇所②竹林の整備 考え、その場でベストなエリア 箇所について、森林組合職員と現場で一緒に リア決定(事業境界)の判断の難しい箇所① 中途半端が嫌いな浄土さんは、 (境界) 測量前のエ を決

文責

高岡農林振興センター森林整備課林政・普及班

めたい、そして、効率アップを図りたいとの ことです。

ています。 は、今後もますます活躍されることを期待し 鎖している中で、 現在、 また、GPS測量の際は、谷部や林冠の閉 高岡支所の陰の立役者である浄土さんに 測量の必要数は増加傾向です。 測量精度の向上に励みたいそうです。 衛星を捕捉しやすい箇所を



